

導入事例

在宅勤務制度の採用により、PCの管理精度向上が求められたケース

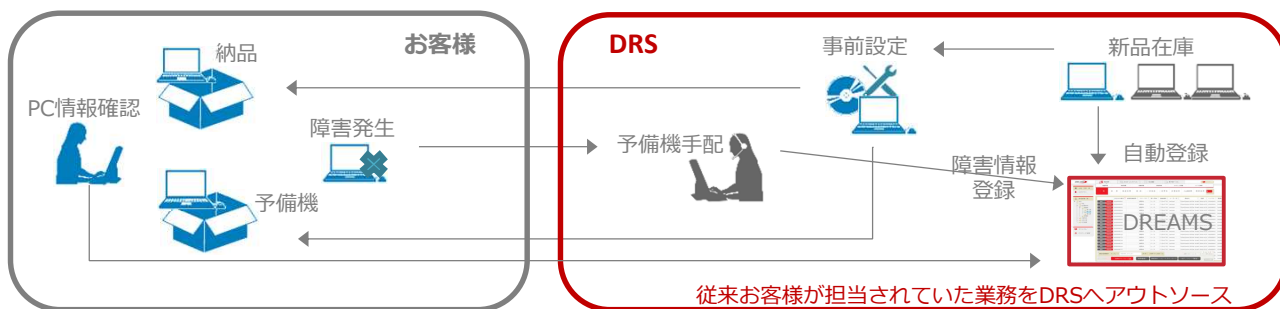
Rental With DREAMS を導入したら、

PC管理業務の負担が軽減されて、モバイルPCの増加にも悩まされることがなくなりました。

PC保有台数は600台。IT部門で都度購入していましたが、利用期間がバラバラで、特に故障時の保守対応などの運用負荷が高いといった課題を抱えていました。

そこへ、在宅勤務制度の採用により、早急にモバイルPCを導入する必要が出てきました。IT部門のリソース不足もあり、導入が長期化する恐れがあったため、アウトソースの検討を開始しました。

さらに、モバイルPCの導入により、管理の課題も浮上しました。これまではオフィスに設置されていたPCですが、モバイルPCは各自が自宅で使用するため、人とPCを紐づけて管理する必要が出てきたのです。この点は、経営層からも、管理制度の整備を求められました。



「Rental With DREAMS」導入効果

[付随サービス]

DRS仕入レンタル、一括調達・分割納品、キitting、予備機

- 1 DRS倉庫機能の活用で、調達コストが下がり、納期も短縮
- 2 PCキitting業務から解放された
- 3 故障時には予備機と交換できる
- 4 PCと利用者を紐づけて管理強化

DRSがPCをまとめて購入し倉庫へストックすることで、ボリュームディスカウント。従来は、購入の都度、機種が変わってしまいましたが、いまはDRS倉庫のストックから、必要なときに必要な台数を、同一機種で導入することができます。

DRS倉庫を利用することで、キitting業務をDRSへアウトソースし、必要な設定が済んだ状態で、PCを利用者へ直送してもらうことも可能になりました。

故障時には、DRSのヘルプデスクへ連絡すれば、同一機種の予備機と交換してくれるので、とてもラクになりました。

Rental With DREAMS の利用により、クラウド型の管理データベース DREAMS を全社で共有し、PC端末-利用者-利用ソフトウェアを紐づけて一元管理できるので、管理精度も格段に上がりました。

レンタル情報とも紐づいているので、レンタル費用の部門配賦や、レンタル終了時の返却もスムーズです。

DRS倉庫からPCが出荷される際に、情報が DREAMS へ自動登録されるので、管理モレの心配もありません。